

核燃料サイクルに係る今後の検討について

H14 . 10 . 29

1 . 目的

原子力委員会としては、東京電力の自主点検作業記録に係る不正等を契機とする諸問題に対し、

何故本件のような事象が発生したのか、本質的な問題点は何か。

信頼回復に向けて何が求められ、何をすべきなのか。

今後、核燃料サイクルの全体像はどうあるべきなのか。

といった観点について、具体的な検討を行う。

2 . 具体的な検討のかたちと、その後の展開

「核燃料サイクルのあり方を考える検討会」の開催

各立地地域の関係者、専門家、ジャーナリスト、市民の方々からお考えを伺い、国民から何を考え、何を求めているのかといった点を中心に、核燃料サイクルのあり方を巡る問題を抽出する。11月から、前述の方々からお考えを伺うことで、検討会を開始する。

核燃料サイクルの全体像の提示

検討結果をふまえ核燃料サイクルの全体像について、原子力委員会としての考え方をまとめ、わかりやすく提示する。

関係者との意見交換

原子力委員会の考え方(まとめ)の提示として、年明け以降、しかるべきタイミングで、立地地域をはじめとした国内各地の方々と意見交換を実施する。また、併せて幅広く内外の関係者との意見交換を行う。